

国際交流サロン

今月号から、新企画「世界の国技を見てみよう」を始めます。
4月は「イギリスの国技・クリケット」です。さあ、世界のことを知って交流を始めましょう。

国	イングランド	国技	クリケット
どんな競技か	起源は16世紀のイングランド。 1チーム11人の2チームがバットとボールを使って、半径が70メートルほどのオーヴァルと呼ばれる広い芝のフィールドで行う競技です。チームは攻撃と守備に分かれて、攻撃チームの打者がバットでボールを打ち、中央にあるピッチの反対側の端に走って触れると得点されます。試合時間は大会によって20インニングの試合から5日間続く長い試合まで様々です。試合中に優雅に英国紅茶をいただく時間を取ります。		
同じ国技の他国	インド、オーストラリア、ガイアナ、グレナダ、ジャマイカ、ジンバブエ、トリニダード・トバコ、パキスタン、バミューダ諸島、バルバド、等		



◀ 笠間でホームビジットを楽しむロシア出身の留学生

5月の国際交流情報

ホームタウンガイド

日時：4月29日～5月5日
午前9時30分～午後4時30分
会場：笠間の陶炎祭会場
笠間工芸の丘
茨城県陶芸美術館多目的広場
笠間稻荷神社
つつじまつり会場間ルート

☆5月の日本語教室の開講日

5月10日(土)・17日(土)・24日(土)
(友部公民館 午前10時～)

笠間市国際交流協会総会のホームタウンガイドのご案内

笠間市国際交流協会では、4月29日から5月5日までのゴールデンウィーク期間中に、外国人旅行者の観光案内を英語、フランス語、ロシア語、中国語、韓国語の多言語で行っています。エリアを3か所に分けて協会のロゴが入ったオレンジかグリーンのユニホームで巡回しています。

観光スポットへの道案内、店舗の案内などを主に、市内の情報をニーズに応じて提供します。どうぞ、ご利用ください。

問合せ：一般社団法人 笠間市国際交流協会 TEL090-2761-8711 (木村 美枝子)

新規採用職員

市長コラム

今年も新規採用職員が38名入庁しました。年齢は19歳から44歳まで幅広い年代の人材を採用しました。内訳は、男性25名、女性13名です。出身地は市内から20名、市外からは18名で、職種は一般行政職が28名、技術職は2名、医療職3名と消防職7名です。

ここ数年の傾向としては、女性の比率と社会人経験者の割合が多くなっています。

新人職員には当初に、公僕の精神で業務にあたるように訓示をし、研修を1週間程度行つて



▲ 採用内定者説明会(2月6日)

から各課へ配属となります。

現在市では、職員教育の一環として毎年10名程度の職員を1年から2年の期間で、県や団体・JR等に派遣し、県からも数名程度本市へ派遣されるという人事交流を行っています。また、被災地支援として、職員2名の派遣も今年度で3年目に入りました。更に今年は、外国人の研修生を迎え入れたいと考えています。

職員にさまざまな経験を積ませることで、人間として成長し、幅広い知識や交流関係を築き、仕事に反映させて成果を出してもらいたいです。

人材教育は、役所(公的)でも民間でも難しいものです。さまざまな取り組みをしていますが、工夫をしながら市の財産である職員の質の向上に取り組んでまいります。

「人は城、人は石垣、人は堀」
― 役所は人 ―

笠間市長
山口伸樹